

● モルドバ・EU連合協定仮署名(29日)

1. 内政

・23日、共産党は、政府の欧州統合路線に反対する大規模な抗議集会をキシナウ市中心部において開催。28日、同党は、駐モルドバEU代表部前においてモルドバ・EU連合協定仮署名に反対する集会を開催。

・27日、ガガウズ自治共和国議会は、モルドバの統合の方向性を問う国民投票を2014年2月2日に実施することに関する法案を採択。

2. 外交

▼モルドバ市民に対する査証免除に関する欧州委員会提案

・27日、欧州委員会は、IC旅券を所持するモルドバ市民が査証なしでシェンゲン域内に滞在できるようにする旨のEU規則改正案を提出。マルムストローム内務担当欧州委員は、本提案はモルドバが査証自由化行動計画に示された全ての水準を満たしたことによるものであるとして、モルドバ当局の努力に祝意を表するとともに、同様の査証免除実現を目指す他の東方パートナーシップ諸国がモルドバに続くことを祈念する旨発言。フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員は、本件はモルドバがEUとの政治的、経済的連携を深化させるにあたり重要な節目となる旨発言。同日、レアンカ首相は、欧州委員会の決定に歓迎の意を表明し、2014年末までに欧州議会及びEU理事会において採択されるよう政府は必要な措置を全て講じる旨発言。

▼レアンカ首相のリニア訪問・モルドバ・EU連合協定仮署名

・28日、東方パートナーシップ首脳会合出席のためリニアを訪問したレアンカ首相は、ブトケビチュウス首相と会談し、モルドバの欧州統合路線等に関し協議。同日、レアンカ首相は、サマラス・ギリシャ首相との会談において両国政治対話及び協力関係の発展等に関し、また、ラインフェルト・スウェーデン首相との会談においてモルドバの欧州に対する課題の実現等に関し協議。

・29日、レアンカ首相とアシュトン外務・安全保障政策上級代表は、ビリニウスでの「東方パートナーシップ首脳会合」の機会に、深化した包括的FTAを含む連合協定に仮署名。レアンカ首相は、同仮署名はモルドバ・EU間の信頼、開放性及び協力の象徴であり、モルドバが近い将来EUの加盟国

となることを証明している旨発言。

・29日、レアンカ首相は、訪問中のビリニウスにおいてオランダ・フランス大統領と会談し、両国対話の活性化及びモルドバとEU間の貿易・経済関係強化等に関し協議。

▼バセスク・ルーマニア大統領の来訪

・29日、ティモフティ大統領は、来訪したバセスク・ルーマニア大統領と会談し、両国のエネルギー網の相互接続計画等に関し協議。バセスク大統領は、モルドバ・EU連合協定仮署名及びモルドバ市民に対する査証免除に向けた手続開始に関する欧州委員会決定に祝意を表明し、ルーマニアはモルドバの欧州基準適合プロセスを支援する旨発言。

▼コルマン議会議長の訪露

・28日、コルマン議会議長は、サンクトペテルブルグを訪問し、ナリシユキン露国家院議長と会談。両議長は、両国議会間協力等に関し協議。

・29日、コルマン議会議長は、CIS諸国議会間会議に出席し、モルドバとEU及びCIS諸国との協力関係の深化は相互補完的であるべきである旨発言。

▼その他

・25日、フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員は、EUとの連合協定署名の準備プロセスの中断に関するウクライナの決定がモルドバと欧州の協力関係に影響することはない旨発言。

3. 沿ドニエストル

▼「5+2」者公式会合の開催

・25、26両日、ウクライナがOSCE議長国である本年最後(5回目)の沿ドニエストル紛争解決のための「5+2」者公式会合がキエフにおいて開催され、社会・経済、法律、人道及び人権等の問題に関し協議。出席者は、住所を地域外に変更した住民に対する社会保障のメカニズムに関する合意議定書等に署名。議長国ウクライナのコジャラ外相は、交渉が継続され、双方の住民の利益に基づいた具体的決定を肯定的に評価し、沿ドニエストル地域に居住するウクライナ及びロシア国民の移動の自由のための条件整備に関するモルドバの決定を歓迎する旨発言。次回会合は2014年2月末にキシナウ及びティラスポリにて開催することで合意。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)